

中学生の部 大賞

私の母はホテルのビュッフェレストランで働いている。授業参観の日、他のお母さんは涼しげでオシャレなのに母は仕事着のままでびっしりと汗をかき教室に入ってきた。正直、恥ずかしかった。しかし中一になり母の職場を訪れてその思いは変わった。両手いっぱい皿を抱え、広い店内を歩き来る母。その足取りは少しぎこちなく、歩きすぎて膝を痛めていることを私は知っていた。それでも笑顔で「いらっしやいませ」と声をかける姿は、まるで光をまとっているかのように見えた。私は、胸が熱くなり涙がこぼれかけた。

制服にしみ込んだ汗も、痛めた膝も、母にとっては常にお客様を第一に考え、行動する努力と誇りの証である。

私の大好きなお母さん。あの頃は恥ずかしくて隠したかったけれど、今は違うよ。汗のにおいも仕事着で学校に来るのも、全部がお母さんの努力の証だよ。だから私は胸を張って言うね。いつもありがとう。

愛知県名古屋市中区一年生

船木^{ふなき}さくらさん